



助生区回覧板でもこのたよりをご覧いただけます
公民館、憩の家にはフルカラー版を掲示しています

Vol. 120

'21. 7. 1

夏の活動予定

7月 1日(木)まちづくり研究会便り 120号発行
7月 11日(日)9:00~:10:00 川清掃
(雨天、増水の場合は中止します)
※川清掃は概ね奇数月第2日曜日に
行っています。ゴミを拾って分別します
助っ人歓迎! 少なからず参加賞あります
7月末ごろ ヘイケボタルのカウント、水槽分離
今年度はヘイケボタルを2名、ゲンジボタルを2名で
飼育する予定です。飼育してみたい方はご連絡くださ
い。飼いやすいサイズになる8月末ごろからになります。
(初めての方はまずヘイケボタルから)

随時「折戸川にホタルを飛ばそう会」との情報交換

初夏の活動報告

5月 1日 まちづくり研究会便り 119号発行
5月 9日 川清掃、打ち合わせ(助っ人含めて6名)
5月9日 ~ 6月20日 ホタル観察
5月23日 初ボタル観察! のぼり1本立てる
5月26日 種用ヘイケボタル採集
5月29日 種用ゲンジボタル採集
6月15日 のぼり収納、ホタルシーズン終了
6月20日 来年少虫孵化、飼育開始
随時「折戸川にホタルを飛ばそう会」との情報交換

ブログ「助生の研究」 →
日本人の自然観って? フィリピン
のとあるダム湖のお話から。など



まち研こぼれ話

1, 残念っ! 今年のホタルシーズンは、のぼり1本だけで終わってしまいました

5月の回覧板で、「一番ボタルを見つけたらホタル橋(通称)にのぼりを揚げます。昨年並みにひと目に10頭(ホタルは正式には1頭2頭と数えます)見つけられるようになったら、禮善寺前と公民館前にものぼりを揚げます」とお知らせしたものの、ゲンジボタルの初見も昨年より2週間ほど遅く、そのあともなかなか数が増えません。「のぼり揚げるの忘れてない?」と連絡くださったかたには、「いることはいるんだけどねえ〜」と歯切れの悪いお返事を。「ホタル橋ののぼりを見て来てみたけど、ホタルいるの?」と連絡くださった方には、もう一度じっくり見ていただいたり、ヘイケの蓮田までご案内したり。



ゲンジボタルは1頭の雌が約1,000個の卵を産みます。自然界で成虫になれるのはそのうちせいぜい2~3頭ですが、幼虫の期間を飼育下におくことで、成虫になれる数を倍増できるのです。今年不調の原因は、昨年より放流数自体が少なかったことにあるのですが、もうすぐひと目10頭になるかというときに来年少虫の種ボタルを捕獲せねばならず、捕獲後数が増えていかないことに我々もヤキモキしました。「ホタル増やし」はまさに3歩進んで2歩下がるという感じです。来年はのぼりを3本ともたてることを目標に、身の丈でがんばります。リベンジに燃えるS氏と、ゲンジ飼育再挑戦のU氏が来年少虫の幼虫飼育を始めています。

ヘイケボタルは自然発生の天然のもの、放流したもの、ゲンジボタルと同じころから見られましたが、ゲンジと違ってその光は小さく、ゲンジボタルのように派手に飛び回ることも少ないので、初めての方は案内がないと見つけられないかもしれません。コロナが落ち着いたら以前のように、ナイトウオーキング会でヘイケの光もご案内したいものです。

※ あざぶまちづくり研究会 連絡先 ※
助生公民館ポスト または 加藤志津香 090-8181-0546